

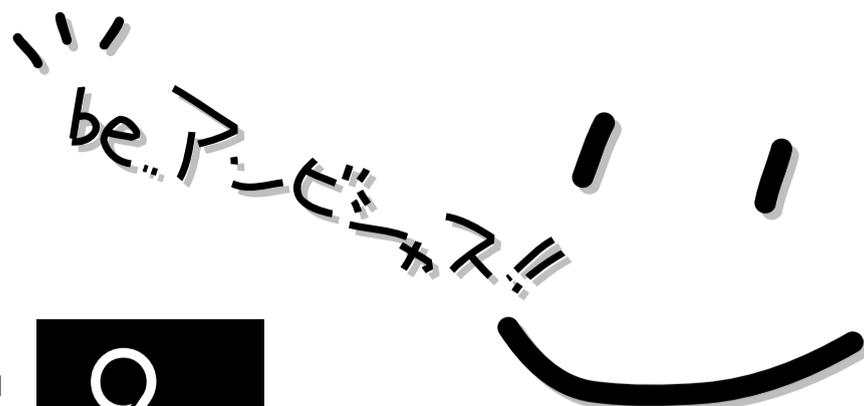
あいかわ

アンビシャス広場かわらばん

Ambitious News



編集・発行 あいかわアンビシャス広場委員会 〒839-0861久留米市合川町471-1 TEL.0942-43-3815
E-Mail aikawa@seagulls.co.jp URL http://seagulls.co.jp/aikawa/ FAX.0942-43-9183



今年も出たゾ! 水の祭典

●あいかわアンビシャスキッズ (8月4日他)

8月3,4,5日の3日間で百万人もの人が動く筑後地区最大の夏祭り「水の祭典久留米まつり」今年も「あいかわアンビシャスキッズ」は総勢約140人が元気に出演した。合川小学校6年生全員が6月からたくさんの練習を重ねて、当日を迎える。

地域のチカラ

ゲストティーチャーの指導のもと、先生も児童も一緒に汗だくになって練習し、たくさんの観客が待つお祭り広場へ。総勢140名あまりというチーム人数はまつりに出演するチームの中でも特筆する人数で、全員が一気に踊る六ツ門南会場の演技は迫力満点だ。

秋の運動会はもちろん、今年は11月の街のイベントにも出演した。緊張したり、恥ずかしかったり、大拍手を受けてはにかんだり、晴れがましか

ったり、学校の中ではない社会の多くの人たちが見守る中での演技は、観ている方も感動ものだが、子供達自身の心に大きな思い出として、また素晴らしい体験として強く残っていくだろう。

今年は子どもを対象にした悲惨な事件が立て続けに起こってしまった。今や尋常な手段では対策は難しいのかも知れない。

しかし、合川校区では他に先駆けて平成9年から保護者による毎朝の登校指導が今も続いている。子どもが学校に行く日は親も毎日「おはよう」と声を掛ける。雨の日も雪の日も。それに呼応するように、地域からはたくさんの大人たちが下校時間の子供達を見守っている。

11月に毎年行われる「ふれ愛文化祭」は昨年から地域と合同で行われるようになったが、この時は地域から100人を越すゲストティーチャーが学校に招かれ、様々な遊びを通じて子供達に多くのことを教えている。

今や大規模量販店や遊技場などが軒を連ねる校区だが、地域や中学校の親父の会などで、ここでも夜間パトロールが頻繁に行われている。

パトロールや登下校の指導は悪さ坊主を見つけ出すことが目的ではない。「君を知っているよ」という人のつながりを子供達に見せること、決して子どもを社会から孤立させないことにこそ、本当の意味がある。

合川地区を含む良山中学校区は数年前の荒れ方はすっかり影を潜め、今、落ちついたとてもいい環境を作っている。しかし、自分の子どもや孫だけが悪さをしない、事件を起こさない、巻き込まれないなどどうして言えるだろう。

様々な境遇、様々な家庭環境で育った子供達が、地域と学校の中で暮らしている。地域に住む子はみんな一緒に育ち合わなければならないんだ。「ウチの子は大丈夫」じゃなくて「みんな大丈夫」と言える地域でこそ子供達は真っ直ぐに育つ。子どもも大人も共に暮らし、関わり合い、育ち合う環境。それが本当の地域のチカラだろう。

皆さま、これからもどうぞよろしく御願います。



夜須高原バスハイクに行ってきたぞ！



●夜須高原記念の森 バスハイク (11月19日)

5年生 あやかちゃん

わたしは、初めてやすこうげんに行きました。朝8時30分に運動場にあつまりました。

それから少しまつとみんながせいもんにいたのでわたしもいきました。子どもが28人と大学生の人が11人いきました。みんなそろってバスにのりました。

最初はみんなさわいでいたけど、山のところで静かになってきました。つい tara ともそこはひろくて、とてもゆうぐがありました。すぐにゆうぐであそびました。長いすべり台が一番楽しかったです。ほかにもいっぱいありました。お昼にはみんなでおべんとう食べました。食べたあとはみんなでおかしを食べました。



山のぼってどんぐりをいっぱいひろいました。でっかいのもありました。それがおわたたらみんなめいろに行きました。ごちゃごちゃでとてもわかりませんでした。5分くらいでおわりました。ちょっとズル道もしてしまいましたが・・・

それがおわたたら、はく物かんみたいなところがありました。そこは、トンボ・ちょうちょ・スズメバチがありました。死んでいたけど自由にさわっていいと書かれていたのでさわってみました。そしたら「ぞくっ」ときました。

それがおわたたらもうかえりました。バスの中ではおかしを食べていました。学校についたら、みんな写真をとりました。それで作文かく人といわれたのでわたしが手を挙げました。それでこの作文を書きました。とても楽しくすごせたいです。このことはたぶんわすれないと思います。



BBSのお兄さん、お姉さん、ありがとうございました

4年生 あやかちゃん

今日は、とっても楽しかったです。ゆうぐや山やめいろや木のクイズなどがあってその中で一番おもしろかったのは、ゆうぐとや山とめいろです。ゆうぐは、長いすべり台です。山は、はるなおねえちゃんと手をつないでのぼりました。そしたら木のことのクイズをやりながら山にのぼりました。そして山をおりるときに「けむし」が2ひきました。

「おばあちゃんや大人のひとは、けむしとかすぐにつぶすけど、子どもとかはるなおねえちゃんくらいのは、きゃーというけどねー」とか言って山をおりました。そして、めいろはとてもむずかしかったです。1回めいくときは、ズルの道をしてしまいました。だけど2回めときはズルはしないでいきました。2回めもやっとなでいきました。おべんとうもおいしかったです。はるなおねえちゃんからおかしをもらいました。ほんとに楽しかったです。

●スケート教室 (11月26日)

4年生 るなちゃん

小さいころ、父母と一度スケートに行ったことがあったのですが、私は覚えていませんでした。だから、今回のスケート教室が私にとって初めてでした。うまくすべれるかドキドキでしたが一周目が終わるころに手すりからはなれることができました。



何周目かにもまん中まで行くことができました。二時間はあっという間にたっしまいもっとすべりたかったです。スケートが楽しくなり、また行きたいと思います。

●観劇会 (7月16日)

お母さんのコメント

(土曜日の午前中は家でゆっくりしたいなあ。子どもだけ行かせようか・・・)と思いつつ、重い腰をよこらしよと持ち上げて公民館に向かいました。「しょうぼうじどうしゃじぶた」は我が子が大好きな本の中の一冊。年長の息子もはりきって付いてきました。個性豊かな3人の劇団員さんのパフォーマンスに子供達も目も耳も、そして心も釘付けの1時間でした。ふかふかクッションのじぶた達も魅力的でしたし、工夫の凝らされた劇にも感心させられました。

そしてそれ以上に感心したのは見ている子供達の素晴らしいリアクション！笑うところではっか

り笑い、劇の中の「消防署は何処ですか？」の問いかけにも指まで指して「あそこ！」みんなも一生懸命劇の中に入っていました。

子育ての難しい時代と云われていますが、子供達の「子どもらしい姿」に触れ、足どり軽く家に帰っていきました。ありがとうございました。

●キャンドル作り (12月3日)

4年生 ひかりちゃん

わたしは12月3日に公民館でキャンドル作りに参加しました。すごく楽しみにしていましたが、作り方を聞いてみると、とても熱い物を使うといったので私につくれるかなどときどきしました。実際に作ってみるとちゃんと出来たのでよかったです。それはやさしい先生がいてたいへんなところは手伝ってもらったから出来ないところもできました。



わたしは赤いびんを選んで、その中をきみどり色と黄色にしてりんごみみたいなキャンドルにしました。2こつくって、ふたつめは中をピンクにしました。

かわかしてできあがったのでそっとふくろに入れて持って帰りました。家で作ってみると、うまくできました。とても楽しかったのでまたいきたいです。クリスマスがくるのがとても楽しみです。



さきうちよに行こう!
(1月8日)

場所: 枝光橋横
主催: 枝光活性化委員会

アンビシャス広場では、子供と一緒に遊んでいただけるボランティアを募集しています。ぜひ積極的なご参加をお願いします。みなさんの広場に対するご意見もお聞かせください。

TEL.43-3815(教頭)

E-Mail.aikawa@seagulls.co.jp

